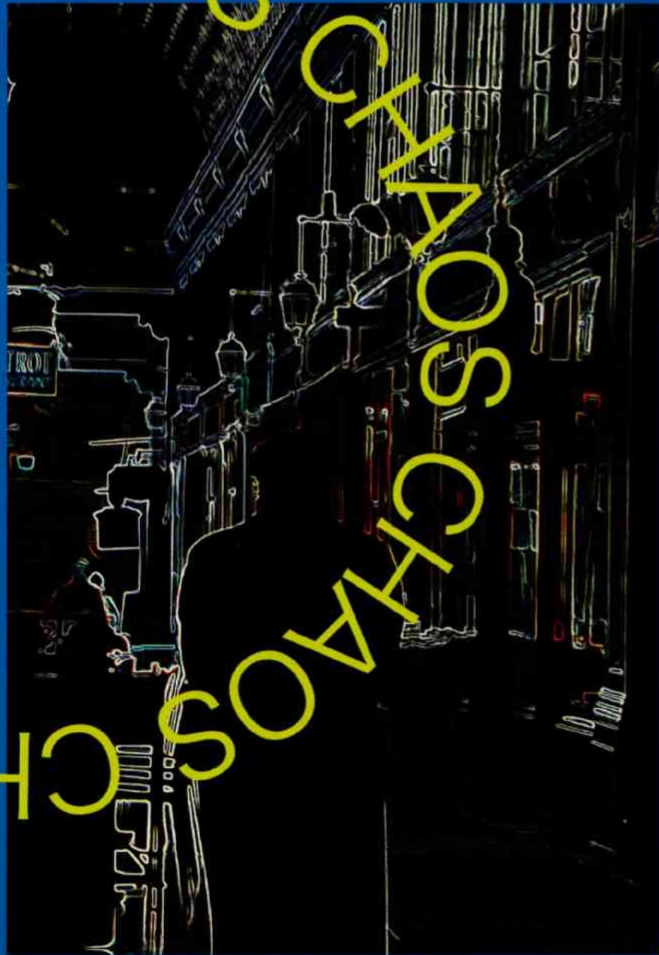


渾沌

CHAOS CHAOS

2010



近畿大学大学院文芸学研究科

CHAOS

渾沌

近畿大学大学院文芸学研究科

第7号

渾沌



近畿大学大学院文芸学研究科

2010

渾 沌

第7号

2010・3



近畿大学大学院文芸学研究科

渾沌 第七号 ● 目次

表紙デザイン 伊藤 尚子
表紙絵・カット 本村 元造

大学教育を問う

「人文学の伝統」と文芸学部

井面 信行 1

エッセー

民俗学の水脈——伝統の創造と継承を願って

岸本 誠司 19

インタビュ

「なにが学生を夢中にさせるのか」
——ファッションジャーナリスト・ピーコさんの講義から

金井 啓子 23

研究のトピクス

甚解を求めず

西田 耕三 33

研究ノート

漱石とニーチェ

——『行人』における「所有」の問題を手掛かりに

清 眞人 57

研究ノート

「子ども論ノート・・・ケアの社会倫理」

大越 愛子

101

特集 「文芸学の基盤を問い直す」現代社会の中で

What is the Essence of a Global World?

Richard J. Kelly

124

オープンソースの文芸学

辻 和彦

125

研究のトポス

幕末期の「独逸学」と『官獨逸單語篇』

荒木 康彦

146

南部タイ3県の社会的背景と近年の政治事件の増加に関する考察

秦 辰也

170

A Silent Light *The Spirit of the Ideal and Japan's*

Robert Kowalczyk

190

"Article Nine" (Part Two of Two Parts)

Robert Kowalczyk

190

編集後記

編集委員会









編集後記

昨年度に引き続き編集長をさせて頂いたこととなったのですが、思いがけなく、病に倒れ、大切な時期に入院を余儀なくさせられました。幸い大学院科長の西尾先生が代行してください、また編集委員の皆様のご協力もいただきまして、このように刊行できたことに関して、関係者の方たちに心から御礼を申し上げます。

巻頭に現学部長の井面先生から「へ人文学」の伝統と文芸学部」という格調高い御論考をいただけたことは、現在激動の時期にある文芸学部の原点に戻る意味で、意義深いことだと思えます。発足当時は、まだ大学の理念が生きていた頃でした。文芸学部は、「理性の砦」としての大学の中核となるべく構想されたことを、改めて痛感します。

しかし発足から二十年余の大学をめぐる環境の変化は著しく、大学の存在意義も大きく変容しています。その荒波の中に私たちも巻き込まれ、翻弄されていますが、そんな時期だからこそ、構成員一人一人の文芸への情熱、教育への愛情、理想への夢が生きてくるのだと思います。

今号の「渾沌」においても、執筆者諸氏の熱い志と想いが渦巻いていて、寒さで縮こまっている頭を快く刺激してくれそうです。読者の皆様はどうお感じになったでしょうか。皆様からのご意見、ご批評などをお待ちしています。
(大越愛子記)

執筆者紹介 (五十音順)

荒木康彦	近畿大学文芸学部文化学科教授
井面信行	近畿大学文芸学部芸術学科教授
大越愛子	近畿大学文芸学部文化学科教授
金井啓子	近畿大学文芸学部英語多文化コミュニケーション学科准教授
岸本誠司	東北芸術工科大学東北文化センター講師
清真人	近畿大学文芸学部文化学科教授
辻和彦	近畿大学文芸学部文学科准教授
西田耕三	近畿大学文芸学部文学科教授
秦辰也	近畿大学文芸学部英語多文化コミュニケーション学科教授
Robert Kowalczyk	近畿大学文芸学部英語多文化コミュニケーション学科教授
Richard J.Kelly	近畿大学文芸学部文学科教授

表紙デザイン	伊藤尚子	近畿大学文芸学部芸術学科教授
表紙絵、カット	本村元造	近畿大学文芸学部芸術学科教授
編集委員	大越愛子、西尾秀生、堀田美保、榎原丈和、春木茂宏	

近畿大学大学院文芸学研究科紀要

渾 沌 (第7号)

2010年3月25日 印 刷

2010年3月28日 発 行

編集・発行 近畿大学大学院文芸学研究科
〒577-8502 東大阪市小若江3丁目4番1号
☎(06)6721-2332

印 刷 近畿大学 管理部 用度課 (出版印刷)



近畿大学
KINKI UNIVERSITY



